

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

放火されない町づくり



今月の消防署だよりは、火災から我が家を守るために、火災原因の第1位である放火対策についてお話しします。

放火対策は、「放火されない」、「放火させない」、「拡大させない」の「3ない」が基本です。最近の放火は無差別も多く、いつあなたの家も被害を受けるか分かりません。

次のチェック項目で、あなたの家の放火に対する安全度（危険度）を診断してみましょう。

環境要因

- 前面道路は主に近隣者が通行する道路である
- 付近の道路は深夜でも人通りがある
- 建物前面の道路には街路灯がある
- 自宅付近で放火が発生したことがない
- 付近で暴力事件、痴漢などが発生した（または聞いた）ことがない

敷地・建物への侵入防止

- 道路に面した車庫や物置には鍵がかかっている
- 敷地内に他人が簡単に入りにくい
- 深夜でも玄関などに門灯をつけている
- 長期に留守の場合、新聞などを止めている
- 侵入監視センサー、熱線センサー付き照明器具などを設置している

可燃物などの整理

- 建物周り、共用廊下、階段などに新聞や雑誌などを置いていない
- ゴミは回収日の時間帯に出すようにしている
- 自転車やバイクのかごに燃えやすいものを放置しないようにしている
- 郵便受けの新聞などは早く取り込んでいる
- 車やバイクなどに防災製品のボディカバーを使用している

火災時の初期対応と家族や隣近所との協力

- 住宅用火災警報器や消火器を設置している
- 火災発生時の119番通報について、家族や隣近所と話し合ったことがある
- 消火器などの使い方を知っている（家族も）
- 隣近所と気軽に声を掛け合っている
- 宿泊するとき、外出時など隣近所に声を掛け合っている
- 地域や学校の、火災や地震に対する訓練に参加したことがある

チェックが3個以下の分野は、特に注意が必要です。「可燃物を放置しない」「死角をつくらない」「暗がりをつくらない」といったことを日ごろから心掛けて、放火犯に「見られている」という意識を持たせましょう。

無防備な
心に火災が かくれんぼ

平成27年度全国統一標語

11月9日（月）から11月15日（日）までの7日間、全国一斉に秋季火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい時季を迎え、予防の意識を高めることで発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的としています。